

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(平成31年3月6日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>NICHIBUN COMICS KAREN COMICS 兄貴のケツにお金をもじ込んでやった結果</p> <p>平成31年2月10日発行</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初はそれほど性描写も露骨ではないようだが、後になって派手になっている。また性器の消しも白抜きで形がわかるように描いている。売春行為も肯定しているように見える。指定該当</li> <li>・修整が甘いところがあり、性描写もある。指定やむなし。</li> <li>・連れ子同士の兄弟という設定のストーリーを扱っている。内容が人格否定を連想させる。擬音や体液の描写も多く、性器の修整も甘い。指定該当</li> <li>・性器の修整が甘く、体液の描写も多い。人格を否定するような性格描写もある。指定該当</li> <li>・性交シーンはそれほど多くなく、ストーリー性がある作品ではあるが、性器の修整は甘く、擬音や体液の描写が激しく卑わいに感じる。援助を受けて性交すること自体は陰湿に描かれていないこともあり、人格否定とまでは言えないが、美談で終わっており、青少年に悪影響を及ぼす恐れがある。指定該当</li> <li>・性器の消し方にバラつきがあり、後半からは過剰な表現となっている。そして体液や擬音描写も同様に増量された。指定やむなし。</li> <li>・ストーリー性があり、性表現のページばかりという印象はない。しかし、一部やや描きすぎの感がある。性器をスクリーンで形をとり先端部分だけを丸くボカしており形状がわかる。擬音が多く、体液も粘りはないが、そこそこ派手。肛門への指や性器の挿入や、一か所器具を挿入しているシーンがある。人を金で買うという内容を青少年に見せて問題ないともいえない。指定該当やむなし。</li> <li>・男性器、挿入部分の修整が甘く、卑わいな感じを与えている。血のつながっていない兄弟の恋愛というストーリー性はあるものの、性交シーンを描くための設定という印象は否めない。指定該当</li> <li>・消しが薄く透けていて、細かく、形状がわかる。売春や強要、異物を挿入するといった描写がある。指定やむなし。</li> <li>・内容よりも消しの甘さが際立ってしまっている。男性器の形がほぼ見えてしまっているページが少なくない。青年レベルであれば、もう少しなんとかしてほしかった。指定やむなし。</li> <li>・性器描写が透かした感があるが形状がくっきりと描かれているのが見受けられる。精液、体液を共に描かれるとリアリティを増す感じがある。タイトルの通りだが、肛門にお金を入れているカットは衝撃的。指定該当</li> <li>・全体の絵柄もきれいでストーリーもあり、卑わい感はうすい。「紙幣を肛門に入れる」というのは暴力的とも言えるが、性交の漫画のギミックであり人格否定とまでは言えない。しかし性器の消しは意図的にうすく、ホワイトトーンをうすくかけるだけで、形状を伝えようとしている。指定該当</li> <li>・マニアックなジャンルではあるが、性器修整が甘く、体液描写も露骨で卑わい感がある。指定該当</li> <li>・兄弟だが血のつながりはない不思議な関係の話で、内容がマンガとしてはわかりづらい。性描写、性器の絵も少なく人格否定または卑わい感もあまり感じられない。しかし、この本を一般図書の中に置く必要性もない。保留</li> <li>・擬音・体液描写は多い印象だが、性器の修整は確実に施されている。性器の形状にリアル感が無いため、際立った卑わい感はない。暴力的なシーンも無い。連れ子同士の兄弟という設定というところは若干引がかかる。保留</li> <li>・性交場面が多く、体液も多いが暴力的ではない。性器も微妙に判らなくなっている。ストーリーもあり許容の範囲内。指定非該当</li> <li>・1話から4話は性交描写のページ配分が整理され卑わい感は見られない。最終章「犬と私」は擬音、体液描写は見受けられるが問題視するまでもない。指定非該当</li> </ul>

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(平成31年3月6日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
2	<p>BAMBOO COMICS REIJIN uno! 桜田先輩改造計画</p> <p>平成31年2月21日発行</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・束縛シーンが目につく。性交シーンが多く、暴力的な描写もある。指定該当</li> <li>・修整はしているものの、性描写もある。指定やむなし。</li> <li>・人格否定の描写が多く、修整も甘い。卑わい感を与える。指定該当</li> <li>・コミカルで笑えるが、器具なども使い性行為描写がえげつない。修整も甘い。首を絞めるようなプレイもあり、青少年対象としては不可。指定該当</li> <li>・最少はやわらかいマンガ的な2人組の話であるが、後編は器具・縄・ムチの器具を使用し強制的な性描写に移っている。お客の前でのショー的な描写、裸での絡み、擬音、体液の描写も多く暴力的な性交もある。指定該当</li> <li>・ストーリー性もあり、全体的にコミカルに描かれているが、性交シーンでの擬音、体液描写が激しく、また結合部の断面図も描かれており、卑わいに感じる。SMシーンはコミカルに描かれているが、首を絞められて快感に落ちるシーンがあり、青少年に悪影響を及ぼす恐れがある。指定該当</li> <li>・性描写の割合は大きすぎず、見せ方も工夫されているシーンが多々ある。性器とわかる消し方、見せ方が多いこと、器具描写とレイプが繰り返されることが気になる。指定やむなし。</li> <li>・ストーリー性もあり、コミカルで笑えるシーンもある。凌辱的と思えるシーンもあるが、了解の上であり、大きな問題ではない。しかし、性器の形状がわかり、先端も描いている。擬音も多く、体液描写には粘りがあり卑わい感がある。SMなので致し方ないが、縛りや器具使用が多い。絵が上手なためリアル。挿入シーンの透視図のようなものもあり、一部の絵については指定基準にあると判断。指定やむなし。</li> <li>・緊縛、拘束具の使用描写は多いがどれもコミカルで「人格否定」という深刻な印象はもたなかった。しかし男性器の修整が不十分で形状がはっきりとわかり、露骨で卑わいな描写である。指定該当</li> <li>・シリアスではないが、薬物の使用を肯定的に描いていることを加え、消しが甘いのが最もまずい。指定やむなし。</li> <li>・漫画の出来やタイトル、パッケージ等全て素晴らしい青年コミックだと思う。それだけに消し方が荒い点が残念。素敵なコミックであるのに、性器の形状までわかってしまうような消し方をしなくてもよかったと思う。指定やむなし。</li> <li>・ストーリー的には全編コメディ調で読み進めていくと卑わい感を忘れてしまう。性器の修整はしてあるが形状はわかり、全体的に描写が露骨で大きいのため性交シーンもリアル感が増す。指定該当</li> <li>・器具の使用など性交シーンそのものは過激ではあるが、性交の無いシーンも多く全体としては卑わい感は少ないと思う。読みやすく作品としてのクオリティも高い。消しが甘く、男性器の先端部を描いてしまう点などはさすがに看過しがたい。指定該当</li> <li>・SMプレイとはいえ、首を絞めるシーンや縄をかけるシーンは強姦性を感じる。性交シーンについて、男性器の形状が判断でき、露骨な性交が見受けられる。指定該当</li> <li>・陰毛や体液描写は多い印象だが、性器の修整については確実に加えられている。設定がSMということから一見暴力的に見えるが、強制的な部分も特に無く、コミカルな内容の為、卑わい感を感じられない。ただ、結合部の描き方は気になる。保留</li> <li>・擬音や体液も多く、性器の消し方も逆に卑わいに感じると思われるが、SMという設定のため器具や暴力は趣味の内かもしれない。内容はコメディっぽく、笑って読めば良いのかもしれない。見る人によってどちらともとれる。保留</li> <li>・マニアックなジャンルではあるが、性交シーンの前後、最中と構わずにコミカルなオチが展開する作品。拘束具や体液描写はあるもののギャグ要素の印象が強く、卑わい感をおぼえなかった。指定非該当</li> </ul>